

令和6年度第2回さぬき市総合教育会議議事録

1 開催日時	令和7年1月24日(金) 開 会 10時00分 閉 会 12時05分		
2 場 所	さぬき市立津田こども園 遊戯室		
3 出席者	市長		大山 茂樹
	教育委員会	教育長	和田 浩二
		委員	榎原 秀樹
			得丸 慶子
			多田 俊
			西尾 由香
	岡田 保		
	事務局	教育部長	佐藤 美由紀
		教育総務課長	細川 史朗
		学校教育課長	高西 恵
		生涯学習課長	大生 直樹
幼保こども園課長		酒井 有紀	
教育総務課副主幹		新納 慶子	
教育総務課課長補佐		多田 端子(会議録調製者)	
その他説明 等のため出 席した者	津田こども園園長	黒川 久美子	
	幼保こども園課副主幹	西川 正博	
	幼保こども園課副主幹	庄司 忍	
4 会議に付した協議・調整事項	<p>(1) 令和7年度の主な教育施策について</p> <p>(2) 質の高い教育・保育の実現に向けて</p> <p>① 地域における津田こども園の役割と教育・保育の課題について</p> <p>② 就学前施設の現状と課題について</p>		
5 特記事項	傍聴受付 なし(会場が教育保育施設のため、傍聴の実施は見合わせた。)		
6 会議内容	<p>開 会</p> <p>教育総務課長 ただ今から、令和6年度第2回さぬき市総合教育会議を開会します。 この会議は原則公開とされておりますが、今回、こども園での開催としておりますことから、園内の園児の安全確保等を考慮し、傍聴は見合わせることにしています。 なお、会議の議事録につきましては、後日、公表することとしています。 また、本日は、報道関係者による取材を予定しておりますことを、申し添えます。</p>		

	それでは、会議次第に基づきまして、市長から御挨拶を申し上げます。
市長	(挨拶)
教育総務課長	ありがとうございました。続きまして、教育長から御挨拶を申し上げます。
教育長	(挨拶)
教育総務課長	ありがとうございました。それでは、協議・調整に入ります。 ここからの議事進行は、さぬき市総合教育会議運営規程第3条の規定に基づき、市長にお願いします。
協議・調整事項	
(1) 令和7年度の主な教育施策について	
市長	それでは、議事に入ります。 (1) 令和7年度の主な教育施策について、資料に基づき、関係課長から説明をお願いします。
関係課長	(資料に基づき、令和7年度の主な教育施策について説明した。)
市長	令和7年度の主な教育施策について、各課長から説明がありました。御不明な点や御意見等がありましたら、どなたからでも結構ですので、お願いします。
教育委員	国際理解教育推進事業のサマープログラムですが、対象は、中学生だけですか。小学生を対象とすることはできないのでしょうか。
学校教育課長	小学生は、夏にサマーキャンプを実施しています。ALTとゲームをしたり、一緒に料理をするなどして、外国語や異文化に親しむ事業です。そのため、サマープログラムは、中学生を対象にしています。
教育部長	このサマープログラムは、宿泊を伴いますので、小学生だと少し難しいのではないかと考えています。 来年度からALTの拠点校を中学校から小学校に移します。ALTを1名増員するとともに、コーディネーターを配置し、教育委員会や学校との橋渡し役を担っていただきます。小学校については、こちらの事業に重点を置き、外国語教育の推進を図りたいと考えています。
市長	この事業(サマープログラム)は、キリロムという会社をお願いして実施する試行的な事業で、さぬき市としても初の試みです。まずは、中学生を対象に実施した上で、その成果等を検証し、その結果をもとに、小学生も対象とすることを検討してはどうかと考えています。
教育委員	サマープログラムの実施日数、費用等、現時点で予定されている内容を教えていただけないでしょうか。
学校教育課長	対象は、中学生で、15名程度を予定しています。初めての試みなので、その15名の生徒には、モニター的な役割を担ってもらいます。夏休みに3日間実施する予定です。
市長	それでは、令和7年度の主な教育施策について、教育長から補足をお願いします。
教育長	学校現場は、様々な問題を抱えています。特に、いじめや不登校の問題は深刻です。それに加えて、支援が必要な幼児、児童、生徒が増加傾向にあります。

	<p>す。</p> <p>令和7年度におきましても、香川県教育委員会と連携しながら、そういった諸問題の解決に重点的に取り組んでいきたいと考えています。</p>
<p>市長</p>	<p>令和7年度の主な教育施策ということで、説明をしていただきましたが、ソフト面、ハード面の両面において、様々な事業を実施する予定です。</p> <p>まず、長尾中学校についてです。建物は、老朽化していますが、現時点においては、大丈夫であると診断されています。ただ、保護者からも地域からも、なかなか理解が得られない状況です。そのため、令和7年度には、本格的に建物の耐力度調査を実施する予定です。</p> <p>また、令和7年度の大きい事業として、屋内運動場の空調設備工事がありません。避難所に指定されている屋内運動場から優先的に実施する予定ですが、屋内運動場については、当初の建築時に、空調設備の設置を想定していないので、実際に設置工事を始めると様々な問題が生じることが予測されます。思うように進まないことが考えられますが、なるべく早く設置したいと思っています。</p> <p>引き続き、長尾小学校の改築事業を進めて行きますが、令和7年度は、新たな屋内運動場を建設する予定です。</p> <p>国際理解教育の推進についてですが、まずは、英語教育の充実を図っていきたいと考えています。東かがわ市では、市内の中学生を一定期間海外に派遣する事業を行っています。そういった方法もありますが、さぬき市では、国内で英語漬けの生活をすることによって、英語でのコミュニケーション能力の向上を図りたいと考えています。令和7年度に試行的に取り組み、その結果を踏まえて、柔軟に対応していきたいと思っています。また、ALTの増員も考えています。ALTは、7月までが任用期間ですので、8月以降になります。1名増員し、新たにコーディネーターも配置し、拠点中学校から小学校へ移すという取り組みです。この事業についても、試行的なものですので、やってみて効果を検証します。方法にこだわることなく柔軟な発想で、子どもにとって最適な教育環境を提供していきたいと思います。</p> <p>学校給食共同調理場の施設整備については、市として初のPFI事業です。多額のお金を必要としますが、長期的にみると、高い費用対効果が得られると考えています。今後、アレルギーの子どもは増えていくと考えられますので、きめ細かな対応が必要です。食材価格は高騰しているため、合理的な運営が望まれます。完成まで長い道のりですが、委員の皆さんの御意見も伺いながら進めていきたいと思っています。</p> <p>志度音楽ホールやB&G海洋センタープールについても、引き続き改修を行っていきます。昨日、教育長と一緒に、東京で開催されましたB&G全国サミットに参加してきました。B&G財団は、地域コミュニティの活性化といった要素を重要視しています。さぬき市においても、プールとしてだけでなく、地域の活性化も兼ねて運営していますので、財団から、認定をもらっています。今後もB&G海洋センタープールを地域の拠点として上手く活用していきたいと考えています。</p>

	<p>文化的な活動にも積極的に取り組みたいと思っています。細川林谷記念館の運営、市内に点在する古墳群を生かしたまちづくり、音楽ホールを核とした文化的活動等、様々な文化活動を通して、さぬき市が活性化することを期待しています。また、子ども達が文化的活動に参加したり、文化的な作品に触れることによって、少しでも子どもたちの人生が豊かになることを願っています。そういった経験が将来的に役に立つ事を願って、文化的活動にも尽力したいと考えています。</p> <p>令和7年度は、瀬戸内国際芸術祭が開催されます。8月の会期では、志度・津田エリアが会場となります。具体的な場所については、これから決まるようですが、身近で開催される芸術祭に参加し、作品を見たり、触れたりして、感動を覚える子ども達が少しでも多いことを願っています。</p> <p>また、NHKで、1月5日から放送されている大河ドラマ「べらぼう」。このドラマのパブリックビューイングが1月5日にあり、大画面でドラマを視聴することができました。脚本家の森下佳子さん御本人も来られ、直接お話を聞くことができました。ドラマには、さぬき市出身の偉人である平賀源内が登場します。総合芸術に触れる良い機会でもあるので、ドラマの放映をきっかけに、文化・芸術活動の活性化につなげていきたいと思っています。</p> <p>最後に、人権教育に関する事業です。人権・同和教育というと、表面的には行き届いているように思いますが、まだまだ理解が進んでいないのが現実です。</p> <p>さぬき市でも隣保館活動を行っていますが、そういった活動だけでは、人権・同和教育の解消や人権意識の高揚を図ることは、なかなか難しいと思います。自分の人生を肯定できる人間、物質的なものではなく、心の豊かさを大事にする人間を育てる教育を行っていききたいと考えています。</p>
<p>(2) 質の高い教育・保育の実現に向けて</p>	
<p>① 説明「地域における津田こども園の役割と教育・保育の課題について」</p>	
<p>市長 教育長 教育委員 教育委員会事務局</p>	<p>(津田こども園 黒川園長から説明を受けた。)</p>
<p>市長</p>	<p>園長のお話を聞いて、感想、御意見等ありましたら、お願いします。</p>
<p>教育委員</p>	<p>園長先生、ありがとうございました。0歳児から5歳児までの子が通っているため、教育・保育内容も多岐に渡っていると思います。先ほどのお話の中では、職員全員での研修をすることが難しいとのことでしたが、これまで行ってきた研修の内容や効果のあった研修の方法はどのようなものがありますか。</p>
<p>園長</p>	<p>幼稚園では、指導案を作成して保育に当たりますが、保育所は、指導案がありません。保育所の先生は、その経験がありませんでしたが、とにかくやってみようということで、指導案を作成する研修をしました。研修の中でアイスブレイクをとったり、グループに分かれたり、職員にも聞きながら、楽しく研修ができるよう努めました。</p>

教育委員	保育所、幼稚園ではなく、こども園としてのスタート。職員のメンタルケアや保護者のケア等、多岐に渡り苦勞されているようですが、今後も津田こども園がますます良くなることを期待しています。
教育委員	旧津田町で唯一の就学前施設で、地域とつながっていることは素晴らしいと思います。また、ほとんどの子ども達がそのまま津田小学校へ入学すると思いますが、入学前から小学校と連携し、小学校への接続を考えた教育・保育を提供していることがよく分かりました。
教育委員	幼稚園と保育所が一緒になったこども園がスタートした最初の年は、大変苦勞されていたことが思い出されます。職員もそれぞれの思いがあるので、そのバランスをとりながらの園経営であったことと思います。地域と連携しながら、地域の特色を教育・保育に活かすことに努められ、園長先生ご自身もモデルチェンジしながら、6年間を過ごしていることは、非常に素晴らしい事であると思います。今後も、子ども達が楽しいと思うこども園にさせていただけると期待しています。
教育委員	こども園の先生方全員が、生き生きと仕事をされていると感じます。保育所、幼稚園の垣根を越えて、共にこども園で仕事をされている先生方が、他の施設へ行かれた時に、ここで学んだ経験が、他の園で活かされるはずです。素晴らしい人材を育成されていると思います。楽しみにしています。今日はありがとうございました。
教育長	園長さんが地域や人との関わりに力を注いできたことがよく分かりました。地域の人とのつながりは、子ども達にとって重要なことです。これまでの経験を活かしながら、今後も継続していただきたいと思います。
市長	今日ここに来て、子ども達や先生方の笑顔、子ども達が楽しそうに活動する様子を見ることができて本当に良かったと思います。園長さんが、地域との繋がりを大切にして、地域との交流を継続しながら、園の運営をしていることも改めて実感しました。 地域との繋がりにおいて、園長さんが気をつけていることはありますか。
園長	地域の方は、子どもの喜ぶ顔が見たいから、ここに来てくださいます。子ども達には、「お返しもしたいね。」ということで、カレーパーティーに招待したり、お正月遊びを一緒にしてもらったりしています。地域に笑顔を持って帰ってもらえるよう努力しています。
市長	先ほどの園長さんの話の中に、寒川幼稚園と寒川保育所の話がありました。寒川は、こども園にはなっていませんが、施設が隣り合っています。制度的には、こども園ではない状況ですが、隣り合っていることで、こども園のような運営ができるのでしょうか。
園長	寒川の場合、保育所と幼稚園が隣り合っているので、良い環境だと思います。外での活動場所である園庭も共有していますので、0歳児から5歳児までの異年齢同士の触れ合いも生まれ、こども園のような教育・保育を実施することができます。あえて言うなら、保育所を退所して、幼稚園に入園する際に、入園という手続きがあります。一方、こども園であれば、煩わしい手続きを省

	略することができます。保護者にとっては、そういったこともこども園のメリットなのかなと思います。
市長	<p>幼稚園、保育所というのは、子どもを中心に考えて作ったものではありません。縦割り行政の結果であると思います。幼稚園と保育所が一緒になった「こども園」も行政が作った名称です。</p> <p>また、幼稚園では幼稚園教諭、保育所では保育士ですが、子どもからするとみんな同じ先生です。子どもを中心に考えたとき、それらの違いは関係ないように思います。</p> <p>ただ、時代の流れとして、こども園が子どものための最良な施設ということであれば、今後は、市内の施設のこども園化を視野に入れていく必要があります。子どもの数が減ってきているので、今のままの在り方で良いか考えるときが来ています。来年度、検討委員会を立ち上げて、施設の再編等について、考えていきます。</p>
② 説明「就学前施設の現状と課題について」	
市長 教育長 教育委員 教育委員会事務局	(幼保こども園課 酒井課長から説明を受けた。)
市長	<p>公立の施設については、入園する子どもが毎年減少しているため、近い将来、施設を再編する必要があります。</p> <p>子どもにとって、どういった施設がどの程度必要なのか、民間の施設も視野に入れながら、施設の老朽化や浸水区域かどうかの防災的要素を考えながら、単に再編整備の計画を立てるのではなく、まずは、就学前施設の在り方の検討委員会を立ち上げる予定にしています。</p> <p>いずれにしても、教育委員会の意見が反映できるようにしたいと思っています。</p> <p>先ほどの説明の中で他市に比べて、1施設当たりの子どもの数が少ないというデータがありましたが、それが即悪い事ではないと思います。とは言っても、現実的に、子どもの数に対して、施設が多いのも問題です。そういった事を検討委員会で議論していただくことによって、新たな問題点等が明らかになるとと思っています。</p> <p>それでは、就学前施設の現状と課題について、御意見等ありましたら、お願いします。</p>
教育委員	<p>公立施設の建物の状況を見ると、修繕しながら継続して運営するのは、子どもの数を考えると、厳しい状況であると思います。志度地区は、私立の保育所が人気があると聞いています。公立に比べて、サービスが充実しています。今後は、公立の施設にしかないメリットをアピールしないと、保護者はどうしてもサービスの充実した私立の施設を選択すると思います。</p> <p>知人に民間の就学前施設に勤務している人がいますが、自分のしたい保育と保護者のニーズに応えるための保育とで、ジレンマがあるようです。やはり、</p>

	<p>民間の施設は、保護者中心の経営なのかもしれません。</p> <p>公立ならではの教育・保育をアピールする必要があります。</p>
教育委員	<p>現時点で、公立幼稚園は、3歳児がほとんどいない状況です。かつてのさぬき北幼稚園のような状況です。</p> <p>先日、志度幼稚園にお伺いした際に、園長先生に「保育室が余っていますね。」というお話をしたところ、「うれしいような、寂しいような気持ちです。」と話していました。</p> <p>公立の幼稚園に園児が少ないのは、施設の老朽化もありますが、3歳児以上の子どもの保育料が無償化となった事が大きく影響しています。保護者は、少しでも長くみてくれるところを選ぶようになりました。</p>
教育委員	<p>資料11ページの入所（園）児童数の一覧を見ると、高校と同じような現象が起きていることが分かります。保育料の無償化制度が進んだことにより、私立の施設の児童数が多くなってきています。高校も授業料の無償化制度の進展により、私立を選ぶ人が増えてきています。</p> <p>公立と私立、それぞれに良さがありますので、その良さを活かして、保護者のニーズに対応する必要があると思います。</p> <p>また、資料を見ると、長尾地区と志度地区は、子どもの人数に対して、就学前施設が多くなっているため、地区ごとに子どもの人数を考慮し、施設の数や施設の規模を検討していただきたいと思います。</p>
教育委員	<p>これから子育てを本格的に始めるお母さん達に聞くと、「育児休暇明けで、仕事に復帰した時の状況を考えると私立の施設の方が、サービスが充実しているので、どうしても私立を選択してしまう。」と言います。</p> <p>また、公立の保育所や幼稚園への入園手続きは煩雑な上に、受付日が決まっておき、煩わしいことが多いという意見も聞きます。</p> <p>今後、市として、保護者へのサービスの拡充と合わせて、子育て世帯にとって有益な情報をさらに発信することに努めてほしいと思います。</p>
教育委員	<p>幼稚園では、家ではできない遊びを思いっきりすることができます。また、幼稚園では、小学校との繋がりを考えて、一日の活動を組んでいます。ただ、子どもが集まらなると実行できません。現時点での各幼稚園の人数を見ると、先生方が本当にしたい活動ができていないのではないかと、思います。</p> <p>色々な人の意見を聞きながら、子ども中心の環境を整備する必要があるように思います。デメリットも含めて、検討委員会で考えていただきたいと思います。</p>
教育長	<p>子どもの人数が減り、施設の老朽化が進んでいる状況において、改めて公立施設の果たす役割を考える必要があると思います。就学前施設から小学校への接続が難しくなっている現状において、主導的な役割を果たすのが公立の幼稚園ではないかと思えます。支援の必要な子、医療的ケアの必要な子、外国籍の子ども、様々な子どもがいますので、そういった子ども達にも他の子ども達と同じように、幼児教育を提供できる用意をしておくのが、公立の幼稚園であるべきだと考えます。</p>

	<p>そういった事も含めて、検討委員会で全体的に協議していただきたいと思 います。</p>
市長	<p>御意見、ありがとうございました。</p> <p>就学前施設の在り方については、難しい問題です。</p> <p>幼稚園、保育所、こども園、公立か私立、そういった事を前提にして議論 するよりも、そういった概念にとらわれずに、白紙に戻して、子ども達を最優先 に考えていく必要があります。</p> <p>これまでの経験や知識は、横において、まずは、子ども達の夢や希望を叶え らえることができる施設の在り方について、検討委員会で考えていきたいと思 います。</p> <p>今日は、令和7年度の主な教育施策について、質の高い教育・保育の実現に 向けてということで、委員の皆様方に御意見をお伺いしました。貴重な御意見 ありがとうございました。</p> <p>それでは、以上をもって、令和6年度第2回総合教育会議を閉じたいと思 います。</p>
閉 会	
教育総務課長	<p>以上をもちまして、令和6年度第2回さぬき市総合教育会議を閉会します。 ありがとうございました。</p>